



東京PCB廃棄物処理事業だより (No.31)

東京PCB廃棄物処理施設の運転状況について

当処理施設の平成24年7月～9月の処理実績は下表のとおりです。

現在、高濃度PCB廃棄物、低濃度PCB廃棄物とも、安全に処理が進んでいます。

高濃度・低濃度区分	廃棄物の種類	7月～9月 処理台数	操業開始から の 処理累計
高濃度PCB廃棄物	トランス類	112台	1,668台
	コンデンサ類	1,769台	19,270台
低濃度PCB廃棄物	柱上トランス絶縁油	447.6kℓ	9,858kℓ

*高濃度PCB廃棄物については処理に着手した台数を処理台数としています。

*東京事業所に係る安定器等の受入については、現在停止しています。

東京PCB廃棄物処理事業環境安全委員会が開催されました。

平成24年10月4日、江東区東陽町にて第25回「環境安全委員会」（委員長：中杉修身 元上智大学大学院教授）が開催されました。

平成24年度上半期の施設の操業状況として、施設の稼働や環境モニタリングの結果、運転及び設備の対策改善、安全衛生管理活動等について報告しました。委員からは排水中のダイオキシン類が法規制値(10pg-TEQ/ℓ)以下であったが自主管理目標値を超えたこと(5.6pg-TEQ/ℓ)について、原因及び対策等のご質問やご助言をいただきました。

また、環境省から今後のPCB廃棄物の適正処理推進について報告があり、委員からは処理期間の見直しについて、更なる短縮要請などの意見が出されました。

本社からは東京事業の処理の見通しについて、これまで検討してきた処理能力の向上策、設備改造の検討状況などの報告がなされました。

委員からは、処理促進策に関するご意見、設備改造の効果などに関するご質問等がありました。

いただいた貴重な意見・助言等を施設の運営・管理に反映し、引続き安全・確実な処理を行なっております。



環境安全委員会の様子

超大型トランスが搬入されました。



搬入された超大型トランス

埼玉県の保管事業者様から事業所操業開始以来最大の超大型トランス（PCB油量10t、容器重量21t）を受け入れました。超大型トランスは変圧器、放熱器など22に分割され順次搬入されました。

左の写真は8月15日に17tの変圧器本体を受け入れているところです。

8月14日から処理を開始し、10月14日に全ての中間処理が終了しました。

今年度は25年1月にも超大型トランス1台の搬入を予定しています。

避難訓練の実施



避難訓練の様子

9月21日に大規模地震が発生したとの想定で避難訓練を実施しました。

訓練は地震発生により正面玄関前に緊急避難し、人員点呼により全員の安否を確認しました。

その後、大津波警報が発令（到達予測1時間後）され、高所（3階、4階）へ避難し、再度人員点呼・安否確認を実施する流れで進められました。

訓練には工事関係者、隣接事業所の方々も参加され、初めての避難訓練としては比較的スムーズに、大きなトラブルも無く終了できました。

現在、円滑な避難行動が成されたか、通報・連絡が適切に成されたかなどについて確認・検証しており、今後の防災対策に反映することとしています。

PCB収集運搬業者安全協議会総会が開催されました。

平成24年8月24日に当処理施設が入門許可を出しているPCB収集運搬業者で構成される「第5回PCB収集運搬業者安全協議会総会」（会長：日本通運株式会社）が開催されました。当日はPCB収集運搬業者28社、34名が参加されました。

収集運搬時事故の際の緊急連絡体制等について確認、連絡が行われました。①入退会会員の報告として、新規2社の入会があり会員数は31社となりました。②収集運搬時事故の際の緊急連絡体制の変更を行いました。

また、総会終了後、同収集運搬業者と東京事業所との間で「東京PCB廃棄物処理施設収集運搬業者連絡会」を開催しました。

①東京事業所の操業状況報告、②PCB廃棄物適正処理検討委員会の検討状況、③入門許可条件の遵守のための注意事項及びトラブル報告、④車載端末操作、⑤ISO全社統合認証報告、⑥営業の連絡事項などについて報告し、必要な情報共有を図りました。

また、収集運搬業者からは、運搬計画書・日報の報告方法等について質問・要望が出されました。

最後に、無事故で安全なPCB廃棄物の収集運搬を再確認し閉会しました。



東京PCB廃棄物収集運搬業者連絡会の様子

環境報告書2012を発行しました。



環境報告書

平成23年4月1日～平成24年3月31日の当社の事業活動に係わる環境配慮の取組みをまとめた『環境報告書2012』を9月に発行しました。

この報告書は「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律」に基づき作成しております。また、環境保全に加えて労働安全衛生、保安防災、地域とのコミュニケーション等の取組みについても記載し、開示情報の信頼性を高めるための第三者審査を受けています。「環境報告書2012」はHPにも掲載しております。アドレスは以下となっております。

<http://www.jesconet.co.jp/company/environment/index.html#env01>



日本環境安全事業株式会社 東京事業所
〒135-0064 江東区青海三丁目地先（中央防波堤内側埋立地内）
TEL 03-3599-6023
<http://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>